

# いぬなし青葉

令和6年2月29日

第24号

校長 山下英樹



山手中HP

「1月は行く」「2月は逃げる」と言われるように、あっという間に2か月が過ぎ、2月も最終日です。1週間後の来週の木曜日が卒業式ですので、3年生の残りの登校日数は5日となりました。本当に早いです。3年生のみなさん、卒業前の今はどんな気持ちでしょうか？ いろいろな感情や思いが複雑に入り混じっていると思います。卒業式は次のステージへ進むための大きな節目であるとともに、今まで育て支えてくれたお家の方、先生、地域の方たちへ感謝の気持ちを伝える場でもあります。中学校の最大の行事、卒業式を、3年生のみなさんの力で、素晴らしいものにしてください。

会場の都合で参加できる在校生は学級役員や生徒会役員等に限られますが、代表して参加した在校生は、3年生の素敵な姿をしっかりと心に焼き付けるようにしてください。そして、卒業式で感じたことを学級や学年に持ち帰り、広げていくという役割をお願いします。

## ● 特別支援学級学習発表会が行われました。

2月16日（金）、四日市市文化会館で、第37回三泗小・中学校特別支援学級学習発表会が開催されました。各校の特別支援学級の児童生徒が、自分たちの取組をたくさんの人の前で発表しました。歌あり、ダンスあり、合奏あり、体操あり・・・本校のおおば学級は、校歌の合唱と、畑での野菜作りのこと、収穫した野菜を使って調理実習をしたことを発表しました。発表は、内容を全員が暗記しており、会場のほうを向いて堂々と話せていました。「食べ物に感謝し、食事したいと思います」というまとめの言葉に、会場から大きな拍手が沸き起こりました。また、途中、音響の不調で録音したピアノの音が少し止まってしまいましたが、動じることなく、しっかりと歌い上げました。その姿を見て、とても頼もしく感じました。いろいろな経験が成長につながっていることを実感しました。また、各校の児童生徒の作品の展示コーナーもあり、様々な作品が並べられていました。（本校生徒の作品は来客用玄関に展示してあります）



## ● 3年生が学校をきれいにしてくれました

2月20日（火）、1・2年生が学年末テストで下校した午後、3年生が奉仕作業を行ってくれました。3年生の各教室や図書室などの机・椅子を全て出してのワックスがけや校内のすべてのトイレ掃除、外の溝掃除や夏場には鬱蒼（うっそう）と雑草が生えてしまう場所に防草シートを敷く、砂利を詰める等といった作業をしてくれました。3年間過ごした学校への感謝の気持ちや後輩たちへの思いを込めて、どの場所も、とても一生懸命に作業をし、きれいにしてくれました。

作業中の3年生の表情や雰囲気はとても良く、仲間と楽しみながらやってくれていました。その様子から、良い関係ができ上っているなあと感じました。4月からの新しいステージでも、「どんなことにも仲間とともに楽しみながら取り組める」そんな素敵な人間関係を築いていくことを願っています。3年生のみなさん、ありがとうございました。



【生徒の活躍紹介】●1年生の[ ]さんが、2月4日（日）に、三重県立みえこどもの城が主催する「第18回クライミング選手権」ボルダリング上級クラスで、準優勝しました。

●2月18日（日）に行われた美し国三重市町対抗駅伝大会で、四日市チームの7区を任された[ ]さんは区間3位の力走で、チームの優勝に貢献しました。四日市OPチームで3区を走った[ ]さんも区間3位で、練習の成果を発揮しました。友好レースに参加した[ ]さんは31人中2位の好記録でした。詳しくは2月19日の山手中HPをご覧ください。

●3年生の[ ]さんは、3月26日（火）から千葉県国際総合水泳場で行われる、第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 水球大会に出場します。

## ● 夢に向かって努力を続けることが大事

棋士（きし＝職業として将棋を指す人）と言えば、すぐに思いつのが藤井聡太（ふじい そうた 2002～）さんだと思いますが、もう一人有名な棋士がいます。平成の絶対王者と呼ばれた羽生善治（はぶ よしはる 1970～）さんです。羽生さんは昨年 of 年末の将棋のイベントで、会場を訪れた小学生から「才能と努力、どっちが大事だと思いますか？」という質問を受けました。これに対して羽生さんは「才能は“持って生まれたもの”という意味だと思うんですけど、自分が持って生まれたものはなかなか自分ではわかりません。努力を続けた結果、これが自分が持っていたものなんだとわかったり、一生懸命やった結果として新しい能力が見つかった、ということもあると思うんです。将棋に限らず他のことでもそうですが、興味を持ったことを一生懸命やるということが大事なんじゃないかなと思います」と答えました。また、羽生さんは著書の中で「才能とは何かと問われれば、『続けることだ』と私は答えます。続けることなど誰にでもできると思うのですが、実はこれが最も難しいのです」と書いています。

話は変わりますが、先日まで行われていたサッカーのアジアカップで、優勝候補だった日本代表はベスト8で負けてしまいました。後半のアディショナルタイムに相手の決勝点となるPKを与えてしまったディフェンスの板倉選手は、試合を振り返り「こんなに自分自身でゲームを壊すことは今までなかった。それを勝たないといけない状況でやってしまったのは、自分の力のなさが出たということだと思う。より一層サッカーに向き合って、もっとやっていかないといけない。このままだと代表のピッチに立つ資格はないなと感じた。ここから頑張ります。」と述べています。

何かに挑戦した時、その努力が必ず報われる（むくわれる）ことが分かっているならば、だれでも努力を続けられるでしょう。現実の世界ではうまくいく場合もあれば、すぐには結果が出ないことや頑張ったけど思うような結果が得られないこともあります。もしかすると、うまくいかないときの方が多いかもかもしれません。そんなとき、「自分には無理だ」と志半ば（こころざしなかば）であきらめたり、失敗した理由を他人のせいにしてしまうと、そこから先には進めません。もう一度気持ちを整え、あきらめずに努力を続けることが成功につながります。継続することは難しいことですが、続けることがなにより大切です。1学期に立てた目標、今年の初めに立てた目標、また、将来こうなりたいと描いた夢が叶えられるよう、誠実に、丁寧に努力や取組を続けていきましょう。



【保護者の方へ】昨年の今頃、男子高校生が回転ずし店のしょうゆのボトルをなめる動画がSNSで拡散され、社会的に大きな問題となりました。この高校生は高校を中退することとなりました。今年の2月上旬、ラーメン店の水の入ったピッチャーのふたをなめるような動きをする動画が拡散され、この男性は威力業務妨害の疑いで逮捕されました。先日も志村けんさんに関わるデマの投稿をしたとして賠償金の支払いを命ずる判決がありました。どうしてこのようなことが繰り返し起こるのでしょうか。「ノリ」や「勢い」で行動し、「バズる」と思い投稿してしまうのでしょうか？少し考えれば、正しい判断ができたはずですが、投稿したことで、取り返しのつかない状況に陥ったり、その後の人生に大きく影響したりします。

スマホ等があれば、動画や写真の公開、個人情報等に関わる投稿は誰でも簡単にできるので、決して他人ごとではありません。投稿前に一呼吸おいて確認する習慣をつけたり、日頃から自分の言動が相手にどう受け止められるのか、また、どんな影響があるのかなど、相手の立場に立って考えたり、想像力を働かせて考えたりすることが大切です。普段から思いやりや想像力を働かせ、よく考えて行動する習慣を身に付けることで、SNSに関わる危険は相当な割合で防げると思います。テストも終わり、スマホ等に関わる時間が増える時期です。SNS等の使い方について、お子さんとお話してください。